



令和4年度 熱塩小学校 学校経営・運営ビジョン

【関係法規等】

- 学習指導要領等
「学びに向かう力、人間性等」「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」
- 第7次福島県総合教育計画
「福島ならではの」教育の推進
・「福島らしさ」をいかした多様性を力に変える教育
- ・福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育
- 喜多方市の学校教育の重点施策

教育目標

「ふるさとを愛し自ら学び心豊かにたくましく生きる子どもの育成」
あかるく思いやりのある子ども（徳） つよい心と体をつくる子ども（体）
しんけんに考え学びとる子ども（知） おいしく何でも食べる子ども（食）

学校経営方針

- 「豊かな社会と幸せな人生の創り手」を育てるために
- 子どもがよく学び、よく遊び、「ふるさとを愛する心」を育てる学校
 - 家庭・地域と連携し、子どもと一緒に育てる学校
 - 教職員が地域のよさを理解し、授業に生かし、子どもと共に成長する学校

【本校の特色】

- 少人数を生かしたきめ細かな指導・対応
- 平成19年から熱塩小学校独自の農業科を開始、現在も児童の感性が育われ、感動や歓声が湧く農業科を実践
- 地域を代表する歴史と文化と自然と食

【本校の教育課題】

- 確かな学力の定着、家庭学習の習慣化
- 思いや考えを的確に聴く力、伝える力の育
- 問題解決に向け最後までやりぬく態度の
- 地域のよさを再確認し、愛着と誇りがもてる児童の育成

令和4年度のスローガン 「挑戦しよう、やってみよう」

心を育てる 明朗・礼儀・思慮・協力・友情		体を育てる 体力・健康・安全・自主・自立・規範		学びを育てる 知識・技能 思考力・判断力・表現力		人間性を育てる 食べる力・郷土愛・感動・感謝	
○ 心の居場所のある学級集団づくり ・ 認め合い、助け合い、励まし合い、安心して学校生活が送れる学級づくり ・ QU・学級力レーダーチャートを活用した学級力を高める授業づくり ○ 道徳性・社会性の育成 ・ 多面的・多角的な道徳科の学びの推進 ・ 生活科・総合的な学習を中心とした地域との連携による自らの生き方を見つめ考える学びの充実 ○ 生活の構え（生活のあたりまえ）づくり ・ 「熱塩小よい子の一日」の励行 ・ あいさつ、返事、言葉遣い、整理整頓の指導徹底 ○ 最後までやりぬく力の育成 ・ めあてに向かって行動し、粘り強くやり遂げる場の設定と指導 ・ 「もう少しの頑張り」をすべての教育活動で取り入れることによる達成感・成就感の醸成		○ 体育の時間の充実 ・ 新体力テストの結果分析と授業改善 ・ 「運動身体づくりプログラム」を授業へ位置づけ ○ 運動の日常化 ・ 体力タイムの充実 ・ 朝・休み時間の体育の充実 ○ 健康教育の充実 ・ 感染症予防のための、家庭と連携した「熱塩小の新しい生活様式」の確実な実践と習慣化 ・ 家庭と連携する「早寝・早起き・朝ごはん」とメディアセレクトの取り組みによる望ましい生活習慣の確立 ・ むし歯・肥満の予防並びに治療の促進 ○ 防災・安全教育の充実 ・ 危険回避能力を育む避難訓練・交通教室 ・ 潜在危険箇所の絶無と継続的な安全指導 ・ 関係機関との連携		○ 協調性・互恵性を土台とした「主体的・対話的で深い学び」の実現 ・ 学習規律の徹底と様々な学び方の習熟による基礎・基本の定着 ・ 子どもが聴き合い、話し合う協働的、探究的な学びづくり ・ 学びの成果の実感と活用の時間の確保 ・ ICTを活用した分かりやすい授業 ○ 読解力を高める指導の充実 ・ 読解力の課題分析と授業改善 ・ 読書の機会を増やし、調べ授業・新聞の活動を推進 ○ 授業外での学習の充実 ・ 基礎学力と活用力を育てるサブ・ジャタイム ・ 家庭学習の方法や自ら学ぶ力を身につけるための指導の推進 ○ 特別支援教育の充実 ・ ユニバーサルデザイン授業 ・ 個別の指導計画の作成と取り組み ・ 校内・家庭・関係機関との連携		○ 食育推進の充実 ・ 地域に根ざした食育指導の充実と家庭・地域・専門家との協働・連携による地産地消教育の推進 ・ 給食の時間を活用した食事のマナー指導（箸の持ち方、姿勢、ゆっくり食べる） ○ 郷土愛を育むふるさと学習の推進 ・ 地域の「ひと」「もの」「こと」の価値や要素の洗い出しと教材化 ・ 体験的な学習を拠り処とした探究的な学び・問題解決的な学びの充実 ・ 地域のよさや地域に生きる人とつながる豊かな体験活動を通した「ふるさとを愛する心」「自己の生き方を考える心」の育成 ・ 「愛校心」の醸成（ふるさとを愛する心のベースとなる）	
主		な		指		標	
○「自分は役に立っている」児童 AB 評価 80% ○「友だちと仲良く」児童 AB 評価 90% ○「あいさつ・正しい言葉」児童 AB 評価 90%		○「進んで運動」児童 児童 AB 評価 90% ○「基本的生活習慣」保護者 AB 評価 85% ○「テレビ・ゲーム」保護者 AB 評価 70%		○総合学力調査:到達率経年比較全児童ポイント UP ○「授業理解、学力高まり」児童 AB 評価 85% ○「家庭学習」保護者 AB 評価 80% ○「読書習慣」保護者 AB 評価 70%		○「好き嫌いなく食事」保護者 AB 評価 80% ○「農業科・地域学習に進んで」児童 AB 評価 95% ○「ふるさと熱塩が好き」児童 AB 評価 80 ○「将来の夢や目標をもっている」児童 AB 評価 80%	
○「あきらめずに挑戦・進んで行動」児童 AB 評価 90%		○「楽しく学校に」児童 AB 評価 95%		○「学校の様子を伝える」保護者 AB 評価 90%			

学校経営を支える基盤

《家庭・地域との一体感のある連携・協働》

1. 目指す子ども像を家庭や地域と共有し、手を取り合って教育目標の達成を図る。
2. 地域の伝統や文化を大切にし、地域素材の活用を図る。
3. 学校の情報を積極的に発信し、理解を得るとともに、地域人材の活用を図る。
4. 関係機関やこども園、保育園、加納小学校、会北中学校との情報共有や連携を図る。

《教職員の資質の向上》

1. 校務を精選し、教材研究や子どもと向き合う時間を確保する。
2. 研修を充実させ、指導力の向上を図る。
3. 組織を生かした対応とチーム力の向上を図る。
4. 服務倫理委員会の活性化、風通しのよい職場づくりに努める。